

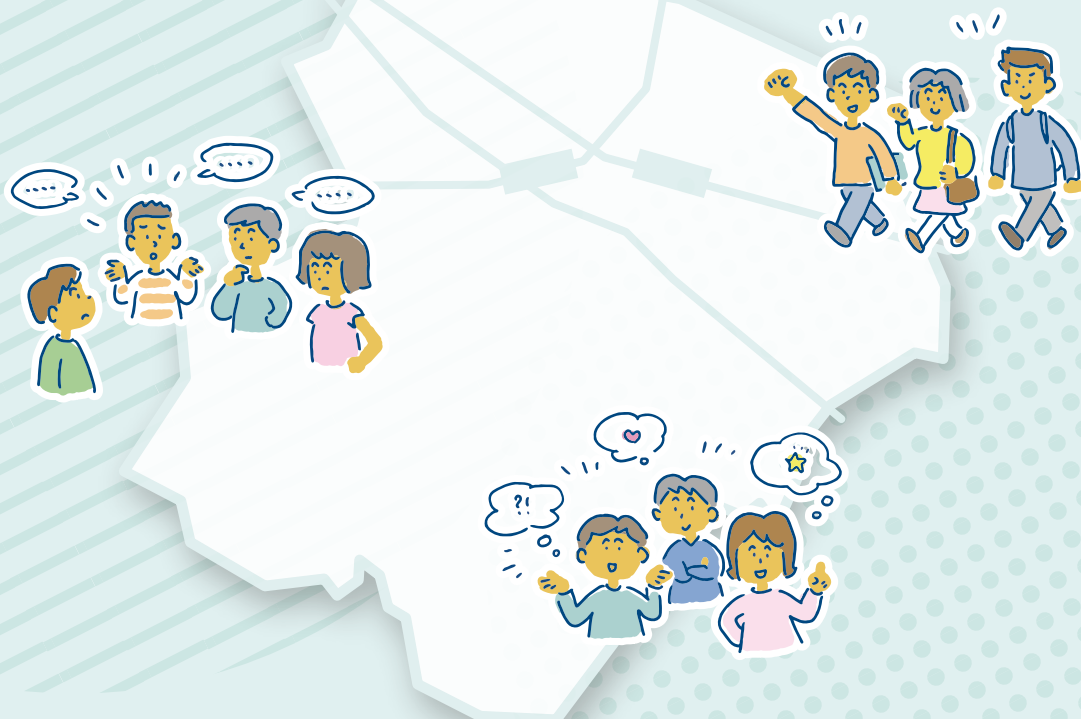


# 地ケアつながり プロジェクト Team SUGE

## 活動記録

令和5（2023）年度

本誌は、令和5（2023）年度に  
地ケアつながりプロジェクト ~Team SUGE~ として  
取り組んだ活動記録です。



### 目次

- P1 はじめに：川崎市の地域包括ケアシステムの施策について  
菅地区での取組の進め方
- P2 Team SUGE の目指す姿と取組ステップ  
今年度の取組概要
- P3 Team SUGE 報告会（9月）  
実践された「地ケ算」の一覧
- P4 地ケ算の事例紹介
- P14 Team SUGE 交流会（3月）

# はじめに

## 川崎市の地域包括ケアシステムの施策について

川崎市では、約 20 年後には高齢者人口が約 1.5 倍に増加し、一方で、生産年齢人口は徐々に減少すると言われています。また、一人暮らしの方の割合も増えており、住民同士での支え合い・助け合いが求められています。そこで、これから 10 年、20 年先も住み慣れた地域で安心して暮らしていくための仕組みとして「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。本市では、地域包括ケアシステムを略して「地ケア」と呼んでいます。



「地ケア」について

## 菅地区ではどんな取組をしているの？



菅地区では、支え合いの地域づくりに向けたさまざまな取組がすでにたくさん行われています。一方で、山坂が多いことやコロナ禍などの影響で、住民同士や活動団体のつながりが希薄になっていることが課題の一つでした。

こうしたことから、地区全体として支え合いのしくみづくりを目指し、令和 4（2022）年に 17 団体（現在 20 団体）とともに「地ケアつながりプロジェクト～ Team SUGE～」を始動しました。令和 6 年度までの 3 年スケジュールで取組を進めています。

1 年目は、活動団体の「困りごと」や活動を行う中で実感する地域の方々が抱える「心配ごと」などを、実際にお互いの活動現場で感じとりながら、共有しました。そして、課題だけではなくそれぞれが持つ「資源」も共有し、活動をより豊かにする小さな取組のアイデア（通称「地ケ算」）を出し合いました。

2 年目となる令和 5 年度は、出し合ったさまざまなアイデアのうち、小さくてもすぐに実施できる取組を少しずつ進めてきました。

今後もさまざまな人や団体が課題を共有しながら、それぞれの得意なことを活かし、より支え合いのある地域づくりに向けて取り組んでいけるよう、活動する方々がつながるしくみづくりをしていきます。

＼ 令和 5 年度 ＼

STEP 1

課題・資源  
ニーズを整理

STEP 2

「地ケ算」  
を広げる

STEP 3

振り返り  
今後の検討



### 「地ケ算」とは？

○○×○○

地域資源を掛け合わせた  
“地ケア”の“掛け算”

本プロジェクトで把握した地域資源を、既存の取組に少しかけ合わせることで、取組がちょっと豊かになるアイデア

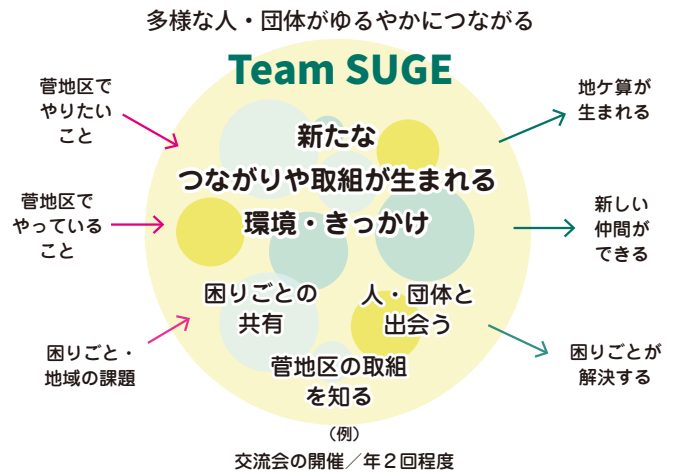
# Team SUGE が目指す姿 (仮)

詳しくは ▶▶  
区ホームページへ



菅地区における支え合いの地域づくりを実現するためには、さまざまな個人・団体がより豊かにつながり、困りごと・やりたいことなどの思いを共有し、その解決・実現に向けて動き出せることが大切です。Team SUGE では、こうしたつながりづくりのきっかけとなるしくみづくりを目指しています。

Team SUGE と関わることで、菅地区の人や団体と出会うことができ、困りごとを共有したり、菅地区の取組を知ることができます。そうした環境やきっかけを創出していきます。



## STEP 2 (令和5年度) の歩み

STEP2は、「地ヶ算」を小さく実施しながら仲間を広げていく1年として、まずはSTEP1で出し合ったアイデアの「その後」を共有し、「地ヶ算」を実現するためのアイデアも出し合う「Team SUGE 報告会」を令和5(2023)年9月に実施しました。そこから生まれた地ヶ算や、以前から温めていたアクションのタネなどが芽吹き、10個の「地ヶ算」が実現しました。令和6(2024)年3月には「交流会」という形で新たなメンバーも迎え、実施された地ヶ算の共有や交流を行いました。

報告会  
令和5(2023)年9月



地ヶ算の実施  
令和5(2023)年10月～令和6(2024)年2月



交流会  
令和6(2024)年3月

詳しくは ▶▶  
次のページへ!

# Team SUGE 報告会

令和5（2023）年9月4日（月）  
14:00～17:00 @菅会館

報告会は、実施された地ケ算を知ること、そして、地ケ算の実施に向けた「はじめての一步」を考えることを目的に開催。

第1部では、Team SUGE をきっかけに実際に行われた「地ケ算」や、これから実施を考えている企画など、4つの「地ケ算」についてご紹介いただきました。参加者の皆さまから、たくさんの応援メッセージをいただきました。

第2部では、地ケ算を一步進めるための知恵を出し合うグループワークを実施。全体発表では、5つのグループから9つの「はじめての一步」のアイデアが紹介されました。



## プログラム

第1部 「地ケ算」を知ろう（60分）

- 1) Team SUGE の地ケ算を知ろう
- 2) 意見交換・質疑、感想の共有

第2部 地ケ算を一步進める知恵出しワーク（80分）

- 3) グループワーク
- 4) 全体共有
- 5) まとめ・集合写真・閉会

第3部 交流・団体からのお知らせ（自由参加）



## 実践された「地ケ算」

各地ケ算について P4～13 でご紹介! ▶

令和5（2023）年10月から令和6（2024）年3月までの期間で、10個の「地ケ算」が菅地区内で実施されました。

1. いちごのプランターを使用した収穫体験
2. 公園を起点としたゆるやかな多世代交流
3. かおりたま北てくてくカフェ
4. 多世代でヨガを楽しもう!
5. 菅地区の郷土野菜“のらぼう菜”を次世代につなごう!
6. お花を届けよう! ～メッセージとヒマワリの種～
7. 「ゆず」を活用した多世代交流
8. クリスマスオーナメントを活用した多世代交流
9. 「地域防災を考える ぼうさい勉強会」の開催  
～いざというとき、どうすればいいの?～
10. ビデオゲームを利用した  
ヒューマンライフオレンジカフェの実施

地ヶ算

1

## いちごのプランターを使用した収穫体験

実施日

令和5(2023)年5月25日(木)  
14:00~

場所

特別養護老人ホーム  
よみうりランド花ハウス

地ヶ算メンバー

網掛けは中心メンバー

川崎市  
農業技術支援センター

×

特別養護老人ホーム  
よみうりランド花ハウス

地ヶ算の経緯

きっかけは令和4年度現地ツアー・  
ワークショップ

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

農産物の新たな  
販売方法としての  
可能性を調査したい  
(農業技術支援センター)

コロナ禍の外出制限で  
新たな屋外イベントや  
外部とのつながりが欲しい  
(よみうりランド花ハウス)

×

＼ Team SUGEの資源 ／

移動可能な  
イチゴの苗・プランターと  
収穫方法の  
ノウハウの提供  
(農業技術支援センター)

目的・目指したいこと

よみうりランド花ハウスの利用者の  
シニアの皆さんが、コロナ禍でも安心して交流できる  
イベントを実施したい



イチゴのプランターを活用して、  
"出前" 収穫体験を実施しよう

### 当日の実施内容

- ・ 同施設のデイサービス利用者 15 人を対象に収穫体験を実施
- ・ 利用者から、「幸せ～」「うれしー」「こんなになっているんだね」と歓声があがった
- ・ 収穫した新鮮ないちごは、デザートとして試食した(右)



いちごを収穫する利用者のみなさん

### 地ヶ算メンバーの声

川崎市農業技術支援センター

近くにある施設だったが、今まで交流はなかった。今回のいちごの収穫体験を通じて、つながりができました。今後も他の施設と連携した取り組みをしていきたいです。

特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス

高齢者が笑顔で摘み立てのいちごの収穫体験ができたのは本当にありがたいです。なかなか外出できないので、すごく面白かったです。

地ケ算  
2

公園を起点としたゆるやかな多世代交流

継続中

**実施日** 令和5(2023)年9月25日(月)  
9:30~

**場所** 菅なかよし公園

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

菅保育園

×

菅なかよし公園体操

地ケ算の経緯

きっかけは令和4年度現地ツアー

＼ 困りごと・改善したかったこと ／      ＼ Team SUGEの資源 ／

核家族化・少子化により  
人間関係が希薄化

(菅保育園)

コロナ禍でも屋外で開催

シニアの交流の場

(菅なかよし公園体操)

コロナ禍で  
交流の場が減った。  
多世代交流の場がない

(菅保育園)

目的・目指したいこと

子ども達の

**豊かな人間性と社会性を育みたい**

高齢者と子ども達や地域子育て家庭とつながることで、

**生きる力を育み、新たな交流を生み**

**互いに支えあえる関係性を築きたい**

公園体操を通じて、

**ゆるやかな多世代交流の場をつくろう！**

当日の実施内容

- ・ 9:30 (公園体操終了後) から公園体操の参加者と中学生 15 名が手遊びや手つなぎ遊びを実施
- ・ 毎月継続的に実施中！

地ケ算メンバーの声

菅保育園

予想以上の反応で子どもたちが本当に喜んでくれました。園児等はなかなか自分のおばあちゃんたちに会えない中で、公園のおばあちゃんと会えることをすごく楽しみにしています。また、月1回というペースが継続のしやすさにも繋がっています。

また、「お礼の手紙を書きたい」と子どもたちから声が上がったことが印象的でした。デジタルな世の中で、見えない人に思いを馳せながら、手紙を書くという経験、私達保育士にとっても、ものすごくありがたい経験でした。



手つなぎ遊びを楽しむ園児と公園体操メンバー



距離感がグッと縮まる大人と子どもがペアになる遊び

地ケ算  
3

かおりたま北てくてくカフェ

継続中

**実施日** 令和5(2023)年10月10日(火)  
※偶数月の第2火曜日 14:00~開催

**場所** 花織たま北小規模多機能型  
居宅介護事業所・地域交流スペース

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

花織たま北 小規模多機能型 居宅介護事業所 × 地域包括 支援センター 菅の里 × 矢野 調剤薬局 × 多摩 区役所

地ケ算の経緯

きっかけは令和4年度  
現地ツアー・ワークショップ

＼ 困りごと・改善したかったこと /

＼ Team SUGEの資源 /

コロナ禍以降、地域で  
高齢者が集まって  
交流できる場が少なく  
なってしまった  
(花織たま北・菅の里)

地域交流スペース  
もっと活用してもらいたい  
(花織たま北)

×

認知症サポーター養成  
講座開講・カフェのノウハウ  
(菅の里)

地域包括として高齢者の  
相談につながりやすい場  
や機会がほしい  
(菅の里)

お薬の飲み方の知識  
(矢野調剤薬局)

目的・目指したいこと

歩いて行ける身近なところに、  
地域のシニアが交流できる場の創出

交流を通じた  
認知症などの予防

当日の実施内容

- ・ 近隣住民を対象に、こじんまりとした「てくてくカフェ」を開催。お茶しながら、懐かしい話などの会話が弾んだ
- ・ 初回(10月)は37名の方が参加。2回目は矢野調剤薬局から薬の飲み方の講義。3回目は、認知症サポーター養成講座を受講したボランティアの方が、手話で楽しく歌う会を開催

連携で得たノウハウ・アドバイス

- ・ 地ケ算メンバーのアドバイスを受け、仲間や参加者を集めるために認知症サポーター養成講座を同会場で開催(9月)。うち、複数名の受講者が継続的にカフェに参加している。
- ・ がんばりすぎないことが大事!

地ケ算メンバーの声

花織たま北小規模多機能型居宅介護事業所

4回目について、職員やボランティアの方と一緒に続けていきたいと思えます。



インスタントコーヒーとちょっとしたお菓子だけで会話が弾みます

「てくてくと歩いていける距離にあるカフェ」という思いが込められた名前。開催の目印は入口前に置かれる立て看板



初回の「てくてくカフェ」の様子

地ケ算  
4

多世代でヨガを楽しもう！

実施日

令和5（2023）年10月23日（月）  
14:00～15:00

場所

川崎市多摩スポーツセンター

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

あゆみ  
YELL

×

川崎市  
多摩スポーツ  
センター

×

ヒューマン  
ライフケア

×

多摩  
区役所

地ケ算の経緯

きっかけは令和5年度報告会（9月）

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

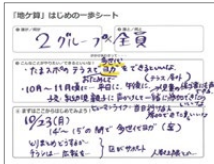
利用者さんの外出機会が  
少ない  
(ヒューマンライフケア)

×

＼ Team SUGEの資源 ／

ヨガのインストラクター  
(あゆみYELL)

多摩スポーツセンターの  
活動スペース  
(多摩スポーツセンター)



みんなで考えた  
「地ケ算」はじめの一歩シート

目的・目指したいこと

小さい子どもの親子と  
外出できる元気なシニアの  
交流の場の創出

簡単なヨガを通じて  
同じ空間で時間を過ごす



当日の実施内容

- ・ あゆみ YELL 楠部さんによるヨガ
- ・ 幼児・親子、ヒューマンライフケアの利用者さんが参加

連携のポイント

- ・ 多摩スポーツセンターが場所を提供
- ・ 南菅こども文化センター（乳幼児親子・児童保護者）やヒューマンライフケアを通じて、参加者を募った

参加者の声

親子

こどももお年寄りの方と触れ合う機会がなかなか無いので良かった

シニア

こどもと触れ合うことがないので懐かしい気持ちになった

シニア

ヨガは初めての体験。1日1回は体を動かして体操をしたい

親子

菅南部のエリアでは親子向けのイベントがないので、近場で参加できてよかった



小さな子と一緒にいるだけで自然と笑顔が咲きました



乳幼児を抱くママもシニアも、同じポーズでストレッチ



地ケ算  
5

菅地区の郷土野菜 “のらぼう菜” を次世代につなごう！

**実施日** 令和5（2023）年11月7日（火）  
10:00～11:00

**場所** 介護老人保健施設  
よみうりランドケアセンター 裏庭

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

川崎市  
農業技術支援センター



介護老人保健施設  
よみうりランドケアセンター

地ケ算の経緯

きっかけは令和5年度報告会（9月）

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

＼ Team SUGEの資源 ／

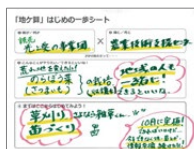
裏庭の荒地を改善したい  
(よみうりランドケアセンター)

栽培可能な敷地（荒地）  
(よみうりランドケアセンター)

菅地区の郷土野菜  
のらぼう菜を  
普及させたい  
(農業技術支援センター)



のらぼう菜の種と  
栽培ノウハウ  
(農業技術支援センター)



みんなで出した  
「地ケ算」はじめの一歩シート

目的・目指したいこと

以前は花などを栽培していた、荒地のような状態の敷地を、施設の地域貢献の一環として、復活させたい

利用者さんが楽しめる機会を作りたい

こうした活動を通じて、担い手が減ってきている菅の伝統野菜のらぼう菜をもっと広めていきたい

当日の実施内容

- 川崎市農業技術支援センターから「のらぼう菜」の歴史や特徴の説明
- 植え方の説明と植え付け作業の実施

地ケ算メンバーの声

介護老人保健施設よみうりランドケアセンター

いちごの収穫体験を通じて、この次の取組につながりました。今後は、奥の敷地もぜひ復活させていきたいです。



ケアセンターの敷地は、もともとすごく荒れていたところ。ケアセンターと技術支援センターで土を掘り起こし、復活させました。

植え付けに参加した利用者の方は、以前は農家としてのらぼう菜を栽培

していたプロでした。「生活の一部だったので土を触るのが大好き」と話していました。

のらぼう菜は3月が収穫時期。3月14日には、収穫体験を実施し、Team SUGEメンバー4名とケアセンター利用者5名が参加しました。

葉っぱを切ってもさらに伸びる強い野菜なので、5月くらいまで収穫できます。

今後は、利用者さんのリハビリも兼ねて成長を見守り、収穫した野菜をセンターで食べるという循環に期待します。

地ケ算  
6

お花を届けよう！～メッセージとヒマワリの種～

**実施日** 令和5年11月23日（木・祝）  
15:00～

**場所** 特別養護老人ホーム菅の里

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

特別養護  
老人ホーム ×  
菅の里

菅こども  
文化センター ×

地域包括  
支援センター  
菅の里

地ケ算の経緯

きっかけは Team SUGE のつながり

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

＼ Team SUGEの資源 ／

菅こども文化センターと  
菅の里の交流が以前はあったが、  
なくなってしまった  
(菅こども文化センター)  
(特別養護老人ホーム菅の里)



ちいきっず役立ち隊による  
地域を明るくしようという活動  
(菅こども文化センター)

菅こども文化センターでは、子どもたちが主体的に活動できるよう、こども会議を毎月開催。この会議で、こ文や地域に貢献したいという小学校6年生からの提案がありました。

目的・目指したいこと

ちいきっず役立ち隊による  
地域を明るくしようという活動を実施したい

以前交流のあった多世代交流の復活

当日の実施内容

- 菅こども文化センターちいきっず役立ち隊の取組の1つとして、以前交流があった菅の里にお花（パンジー 20 株）をプレゼント
- 菅の里のデイサービスの利用者と一緒に植える取組を実施。お花が大好きというお年寄りに花の植え方を教わった
- その後、おしゃべりタイムも実施

地ケ算メンバーの声

菅こども文化センター（菅こ文）

こども会議で Team SUGE で紹介された各施設の課題を解決できないかと話し合い、菅こ文の近隣にある地域包括支援センター菅の里で花を育てる活動に協力できるのではないかとりました。

当日、子どもたちは一緒に花を植えた施設利用者に活動の趣旨を伝えることもでき、満足していました。今後、こ文を利用するときに、菅の里の庭をちょっとのぞき、パンジーの育ちを観察し、花のあるまちづくりの一步として検証していく予定です。



菅の里の中庭に  
パンジーを  
植えました

施設利用者さんで  
園芸のプロから  
植え方を  
教わりました



小学生もいざ実践

最後に、  
メッセージと  
ヒマワリの種を  
しました



地ケ算  
7

「ゆず」を活用した多世代交流

**実施日** 令和5（2023）年12月7日（木）  
令和6（2024）年1月30日（火）

**場所** 南菅こども文化センター

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

南菅  
こども文化センター



介護老人保健施設  
よみうりランドケアセンター

地ケ算の経緯

きっかけは令和4年度現地ツアー

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

＼ Team SUGEの資源 ／

敷地で  
ゆずがたくさん採れる  
(南菅こども文化センター)



施設で、例年  
ゆず湯を実施している  
(よみうりランドケアセンター)

目的・目指したいこと



資源を有効に活用したい

こどもと高齢者がつながり  
を感じるきっかけにしたい

当日の実施内容

- ・ 南菅こども文化センターを利用している子ども達からお手紙とゆずの贈呈をよみうりランドケアセンター職員が受領
- ・ よみうりランドケアセンターから、お返しとして、点字を印刷する際に出る端紙を使って制作した「リサイクルコマ」を贈呈

地ケ算メンバーの声

南菅こども文化センター

ゆずは、木をちょうど剪定してしまった直後だったため、多くは提供できませんでしたが、子どもたちも使っていただいたことを喜んでいました。また、お礼のリサイクルコマにもとても喜んでおり、自分たちで色をつけたり、回し方に変化をつけたり、大変楽しみながら活用させていただいています。

ゆずの贈呈



ゆずとお手紙を渡し、南菅こども文化センターの子どもたち

みんなから  
こ文でとれたゆずですよ  
お風呂に入れてください

リサイクルコマのお返し



よみうりランドケアセンターより、手づくりのリサイクルコマをもらった、南菅こ文の子どもたち

地ケ算  
8

# クリスマスオーナメントを活用した多世代交流

**実施日** 令和5(2023)年12月14日(木)  
10:00~

**場所** 菅保育園

**地ケ算メンバー**

網掛けは中心メンバー

菅なかよし  
公園体操



菅保育園



多摩区  
道路公園  
センター

**地ケ算の経緯**

地ケ算から生まれた地ケ算

地ケ算第2号「公園を起点とした  
ゆるやかな多世代交流」を複数回実施



園児と公園体操参加者の信頼関係が築けた



そこで、公園体操参加者を保育園にお招きし、  
実施できるイベントを企画した。

**目的・目指したいこと**

子ども達の豊かな人間性と  
社会性を育みたい。

高齢者と子ども達や地域子育て家庭と  
つながることで、生きる力を育、  
新たな交流を生み  
互いに支えあえる関係性を築きたい。

**当日の実施内容**

- 菅なかよし公園体操参加者を保育園に招き、多摩道路公園センター提供の木材を利用しクリスマスオーナメントを一緒に制作。
- 公園体操参加者には園児が作成した特製チラシ(右図)を配布した。



**地ケ算メンバーの声**

**菅保育園**

公園体操の方々が少人数で園児と話しながらつくる時間がとても温かく、こういう温度感のある交流は、これからも保育園には必要だと思いました。

また、公園体操の方から「布」をいただき、園児のエプロンを制作しました。地域の方々が、子どもたちを思ってくくださる関係の土台が築けてきたと実感しています。交流はこれからも継続的に続けていきたいと思っています。



地ケ算  
9

「地域防災を考える ぼうさい勉強会」の開催  
～いざというとき、どうすればいいの?～

**実施日** 令和6（2024）年2月10日（土）  
13:30～16:00

**場所** 至誠館なしのはな保育園 1F ホール

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

星の子愛児園



多摩区役所

地ケ算の経緯 **きっかけは令和5年度報告会（9月）**

＼ 困りごと・改善したかったこと /

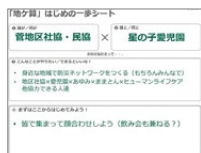
＼ Team SUGEの資源 /

帰宅困難者一時滞在施設と防災協力事業所になっている。

地域の防災活動等の情報交換、また月1回の防災訓練のときに一緒に訓練するなど協力し合えるネットワークをつくりたい

（星の子愛児園）

Team SUGEメンバーのネットワーク



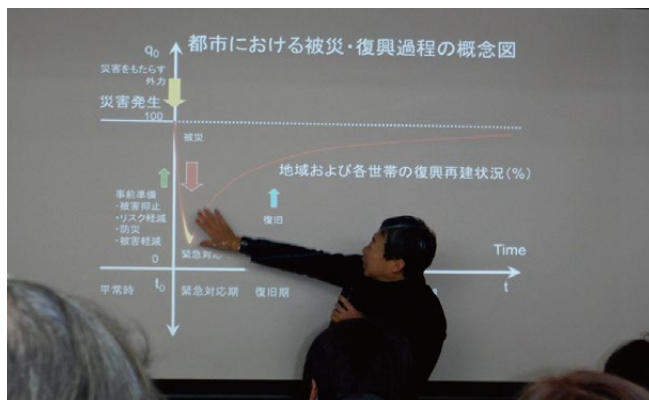
みんなで考えた「地ケ算」はじめての一步シート

目的・目指したいこと

災害時の不安や悩みを一緒に考え、  
身近な地域での  
防災ネットワークをつくる

当日の実施内容

川崎市防災対策検討委員をしている東北大学災害科学国際研究所の村尾教授を講師に迎え、まちの状況を考慮しながら、災害時の不安や悩みを一緒に考える「ぼうさい勉強会」を開催。



東北大学・災害科学国際研究所 村尾教授による講義

連携のポイント

地ケ算のアイデアを持ち寄って生まれた企画：地域との連携強化を目的に、星の子愛児園が Team SUGE 報告会（9月開催）で4つの地ケ算アイデアを共有。Team SUGE メンバーと「こんなことができるんじゃないか」「こんな資源を使うと良いのではないか」などの意見交換を経て、企画の実現に至りました。当日は Team SUGE メンバーも勉強会に参加！



受講された皆さまの様子

地ケ算  
10

ビデオゲームを利用した  
ヒューマンライフオレンジカフェの実施

継続中

実施日

令和6（2024）年2月28日（水）  
13:00～14:30

場所

川崎市多摩スポーツセンター

地ケ算メンバー

網掛けは中心メンバー

ヒューマン  
ライフケア

川崎市  
多摩スポーツ  
センター

よみうりランド  
花ハウス  
地域包括支援  
センター

地域包括  
支援センター  
菅の里

多摩  
区役所

地ケ算の経緯

きっかけは Team SUGE のつながり

＼ 困りごと・改善したかったこと ／

他都市で実施している「ヒューマン  
オレンジカフェ」を菅地区でも実施  
したいが、開催場所や参加者  
募集などに苦慮している  
(ヒューマンライフケア)

地域包括として高齢者の相談に  
つながりやすい場や機会がほしい  
(よみうりランド花ハウス)  
(菅の里)

＼ Team SUGEの資源 ／

参加希望者への声掛け  
(よみうりランド花ハウス)  
(菅の里)

多摩スポーツセンターの  
活動スペース  
(多摩スポーツセンター)

目的・目指したいこと

認知症があってもなくても、  
障がいがあってもなくても  
安心して暮らし続けられる  
共生の地域をつくること

当日の実施内容

- ・ 地域の高齢者を対象とした、ビデオゲームでボーリングなどを行うイベントを開催
- ・ 30名が参加



連携のポイント

- ・ 多摩スポーツセンターが場所を提供
- ・ 参加者を集めるためのチラシ配布：配布場所や方法について地域包括支援センター菅の里やよみうりランド花ハウス地域包括支援センターがサポート。協力してチラシを配布した



地ケ算メンバーの声

ヒューマンライフケア

ゲーム中は、周りで見ている方も集中して聞いていたり、ボーリングでピンが倒れると応援して拍手したり、手を挙げて万歳して喜んでいたり。認知症がある方もリモートコントロールを持って一生懸命遊ばれて、とても喜んでいただいたことが印象的でした。

これからも継続して開催しますので、ぜひご参加ください。



# Team SUGE 交流会

令和6（2024）年3月11日（月）  
14:00～17:00 @菅会館

交流会では、実施された地ケ算を知ること  
をきっかけに、新たなつながりや仲間を見つ  
けることを目的に開催しました。

9月の「Team SUGE 報告会」から、実際  
に取り組まれた「地ケ算」について発表後、  
交流ポスターセッションを実施。参加者は自  
由に会場を歩き回りながら、実施された地ケ  
算について、メンバーと交流しました。今回  
は、地ケ算に対する「応援メッセージ」に  
加えて、「協力できること」「協力してほしい  
こと」を貼り出しました。提供できる資源や  
悩み事の共有などがされました。

第2部では、グループワークを行い、地ケ算  
の感想や交流会の今後のあり方について意  
見交換し、活発な議論が行われました。

## プログラム

オリエンテーション（15分）

第1部：「地ケ算」を知ろう！（75分）

「地ケ算」のご紹介

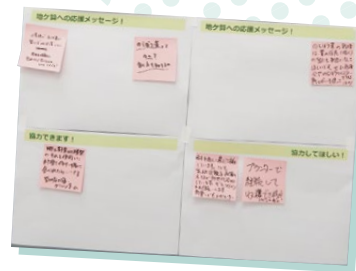
交流ポスターセッション：「地ケ算」をもっと知ろう！

第2部：グループ意見交換（80分）

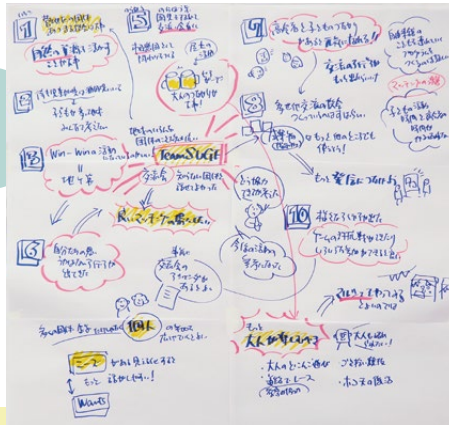
地ケ算の感想と交流会への意見を共有しよう

全体共有

まとめ・集合写真・アンケート記入



交流ポスターセッション  
で貼り出した、地ケ算へ  
の各種メッセージ



ちょっとしたつながりと掛け算で、  
地域が少しずつ良くなっていく。  
Team SUGE はそんな地域づくりを  
今後めざしていきます。





菅地区でのゆるやかなつながりづくりに向けて、  
あなたも一緒に、地域資源を掛け合わせた  
「地ケ算」をつくってみませんか？



詳しくは区ホームページへ

多摩区 地ケアつながりプロジェクト

検索

## 地ケアつながりプロジェクト ～Team SUGE～

令和5（2023）年度の活動記録

令和6（2024）年3月発行

発行：多摩区役所地域みまもり支援センター  
地域ケア推進課

〒214-8570 川崎市多摩区登戸 1775-1

TEL：044-935-3267

制作：（株）石塚計画デザイン事務所